

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26013

学校名：札幌市立澄川小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析	
体力・運動能力 <男子>	<p>【全国平均よりも上回った種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・握力・反復横跳び ・運動の時間が420分以上の割合 <p>【全国平均よりも下回った種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち幅跳び 	<p>【全国平均と同程度の種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン ・50m走・ソフトボール投げ 	<p>・男子は、体力・運動能力において全国平均と同程度、または一部上回る項目も見られ、全体として概ね良好な状況にある。運動習慣についても全国平均とほぼ同程度であり日常的に運動する習慣は一定程度身に付いているといえる。</p>
体力・運動能力 <女子>	<p>【全国平均よりも上回った種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・握力 <p>【全国平均よりも下回った種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20mシャトルラン・運動の時間が420分以上の割合・立ち幅跳び・長座体前屈 	<p>【全国平均と同程度の種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし・反復横跳び ・50m走・ソフトボール投げ 	<p>・女子は体力・運動能力において全国平均を下回る項目が見られ、全体的にやや低い傾向にある。また、運動習慣においても全国平均を下回っており、日常的に体を動かす機会が十分とは言えない状況が伺える。</p>
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<p>【体育の授業は楽しい】楽しい・やや楽しいと回答した児童は男子が9割以上、女子は8割であった。</p> <p>【運動習慣】男子は全国平均とほぼ同程度だが、女子はやや下回っている。</p>	<p>【運動習慣】1週間に420分以上運動する割合が男子は全国平均とほぼ同程度なのに対し、女子は全国平均よりもやや低い結果となった。</p>	<p>・特に女子においては運動を継続する習慣の形成に課題があり、日常的に運動に親しむ機会の充実が必要である。</p>

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組

◇体育の授業の充実

- 子どもたちが体を動かす楽しさや喜びを味わえるよう、運動量の確保を意識した体育の授業を実施する。
- 自分の動きを客観的に把握したり、お手本の動きと比較したりするためにICTを効果的に活用し、課題探究的な学習を進める。

◇子どもが授業以外の時間以外にも運動機会を創出する取組

- 休み時間などにも、体を動かすことに親しむ取組を推進する。
- 50m走、とび縄、鉄棒などの運動において、「休み時間にいつでも」体を動かすことができる環境を設ける「運動チャレンジ」を実施する。
- 体育館、グラウンド以外にもホールや玄関前など体を動かして遊ぶことができる場所を充実させる。

子ども自ら適切に判断し、主体的に行動できる資質能力を育てる。

◇健康教育・安全教育の充実

栄養教諭による「食に関する指導」や外部講師を招いての「いのちの教育」、SCによる「心の健康」に関わる各学年の授業など教科横断的な学習や指導を行う。

◇安全教育の充実

授業中だけでなく「休み時間」や「掃除中」など教員がそばにいない時間などを想定した避難訓練の実施

家庭・地域と

○学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用

○学校評議員・学校関係者評価等の活用 ○健康的な生活習慣作り(家庭との日常的な連携)